広報 IZENA いぜな

伊是名島イメージキャラクター
尚円王®

歴史の島　自然の宝庫　ハブのいない伊是名島

今月号の主な内容

一般会計決算状況
平成26年消防出初め式
平成26年伊是名村新春の集い
一足早い「成人式」開催

	伊是名	仲田	諸見	内花	勢理客	計	先月比
男	161	202	258	97	103	821人	△3
女	157	214	187	81	99	738人	△15
計	318	416	445	178	202	1,559人	△18
世帯数	166	223	233	83	85	790	△17

村の人口【計 1,559人】平成25年12月31日現在

平成26年
No.516
2

村のホームページ
http://vill.izena.okinawa.jp

平成24年度一般会計決算状況

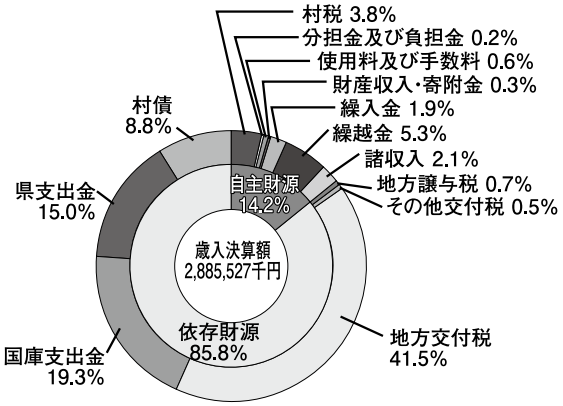
平成24年度伊是名村一般会計の決算は、歳入総額2,885,527千円、歳出総額2,722,317千円で差引163,210千円となっている。

対前年度比較における歳入は、233,431千円の増額となっている。これは、国庫支出金が181,297千円の増、県支出金が88,448千円の増、繰入金が55,835千円の増、諸収入が17,043千円の増などとなっている。①の歳入表を見てみると、自主財源（村が自主的に収入できる財源、村税・使用料・手数料等）が410,466千円で歳入総額の14.2%、依存財源（自主的に収入できない財源、地方交付税・国県支出金・交付金・村債等）が2,475,061千円で歳入総額の85.8%となっており、国や県への依存度の高さがうかがえる。

歳出については、224,471千円が前年より増額となっている。内訳として、普通建設事業費が178,955千円の増、災害復旧事業費が10,790千円の増といった投資的経費の増が大きい。義務的経費については公債費（借入金の償還）が79,896千円の減と昨年の繰上償還によって減ってきているものの人件費及び扶助費の66,587千円の増となり、歳出全体の35.4%と依然と高い状況である。②の歳出（性質別）を見て分かるとおり、義務的経費が35.4%と投資的経費が35.5%で歳出額の7割を占めており、高い数値である。③の歳出（目的別）を見ると、公債費は対前年度に比べ改善へ向かってはいるが、歳出総額の12.4%を占めており依然高い、公債費負担比率も19.7%と対前年比で4.0%の減と改善傾向にあるが、まだ高い状況にある。①から③の決算額及び数値を見ても昨年同様厳しい財政運営が続くものと予想され自主財源の確保や新規村債の抑制、事業の見直しなどといった適正で健全な財政運営に努めなければならない。

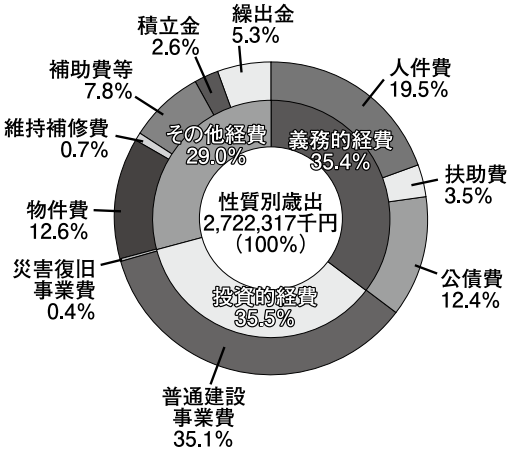
①歳入　　（単位：千円・%）

科目		平成24年度 決算額	構成比	平成23年度 決算額	差額
自主財源	村税	109,862	3.8	110,251	△ 389
	分担金及び負担金	6,558	0.2	6,625	△ 67
	使用料及び手数料	18,173	0.6	19,312	△ 1,139
	財産収入	1,568	0.1	5,319	△ 3,751
	寄附金	3,238	0.2	5,092	△ 1,854
	繰入金	55,835	1.9	0	55,835
	繰越金	154,250	5.3	196,873	△ 42,623
	諸収入	60,982	2.1	43,939	17,043
	計	410,466	14.2	387,411	23,055
依存財源	地方譲与税	20,763	0.7	22,252	△ 1,489
	利子割交付金	561	0.0	350	211
	配当割交付金	85	0.0	84	1
	株式等譲渡所得割交付金	22	0.0	21	1
	地方消費税交付金	11,189	0.4	12,655	△ 1,466
	自動車取得税交付金	4,277	0.1	3,180	1,097
	地方特例交付金	27	0.0	5,729	△ 5,702
	地方交付税	1,194,445	41.5	1,246,628	△ 52,183
	交通安全対策特別交付金	976	0.0	954	22
	国庫支出金	556,732	19.3	375,435	181,297
	県支出金	432,671	15.0	344,223	88,448
	村債	253,313	8.8	253,174	139
	計	2,475,061	85.8	2,264,685	210,376
合計		2,885,527	100.0	2,652,096	233,431



②歳出（性質別）　　（単位：千円・%）

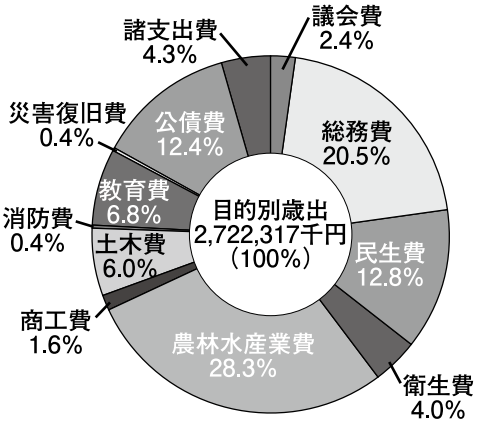
科目		平成24年度 決算額	構成比	平成23年度 決算額	差額
義務的経費	人件費	531,734	19.5	489,006	42,728
	扶助費	94,977	3.5	71,118	23,859
	公債費	338,019	12.4	417,915	△ 79,896
	小計	964,730	35.4	978,039	△ 13,309
投資的経費	普通建設事業費	956,585	35.1	777,630	178,955
	災害復旧事業費	11,112	0.4	322	10,790
	小計	967,697	35.5	777,952	189,745
その他の経費	物件費	342,783	12.6	295,208	47,575
	維持補修費	20,304	0.7	26,619	△ 6,315
	補助費等	212,075	7.8	174,114	37,961
	積立金	71,552	2.6	103,596	△ 32,044
	投資及び出資金	0	0.0	4,680	△ 4,680
	繰出金	143,176	5.3	137,638	5,538
	小計	789,890	29.0	741,855	48,035
合計		2,722,317	100.0	2,497,846	224,471



③歳出（目的別）

（単位：千円・%）

科目	平成24年度 決算額	平成24年度 構成比	平成23年度 決算額	差額
議会費	65,956	2.4	72,767	△ 6,811
総務費	558,401	20.5	369,898	188,503
民生費	348,964	12.8	340,161	8,803
衛生費	108,394	4.0	333,762	△ 225,368
農林水産業費	770,811	28.3	430,413	340,398
商工費	42,783	1.6	54,130	△ 11,347
土木費	163,852	6.0	157,511	6,341
消防費	11,426	0.4	12,520	△ 1,094
教育費	185,347	6.8	161,851	23,496
災害復旧費	11,112	0.4	322	10,790
公債費	338,019	12.4	417,915	△ 79,896
諸支出費	117,252	4.3	146,596	△ 29,344
予備費	0	0.0	0	0
合計	2,722,317	100.0	2,497,846	224,471



伊是名村の財政指標

項目	数値	用語の説明
財政力指数	0.11	高ければ高いほどよいとされている。1以上は普通交付税が交付されない不交付団体となる。
経常収支比率	104.4%	人件費、扶助費、公債費などの義務的性格の経常経費が、地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な一般財源総額に占める割合。この数値が低いほど弾力的な構造だと言われている。
公債費比率	15.7%	経常的に収入される財源のうち公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合。地方債の発行には18%以上は許可が必要で、25%以上は制限される。
公債費負担比率	19.7%	公債費の中で特定の財源をもたない経費の一般財源総額に占める割合。比率が高いほど自由度の高い一般財源を多く充てしまっていることになり、財政構造の硬直性が高まっていることになる。

平成24年度伊是名村特別会計決算状況

（単位：千円・%）

会計名	歳入	歳出	収支差引
国民健康保険特別会計	274,525	262,412	12,113
後期高齢者医療特別会計	13,123	11,892	1,231
簡易水道事業特別会計	59,910	55,858	4,052
農業集落排水事業特別会計	24,786	23,817	969
港湾整備事業特別会計	24,342	23,683	659
船舶運航事業特別会計	319,904	317,152	2,752
育英事業特別会計	9,098	7,758	1,340
計	725,688	702,572	23,116

宝くじ助成金で備品を整備しました

～平成25年度コミュニティ助成事業～

宝くじ普及広報事業の一環として、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業により、各区のコミュニティ活動が活発に図れるように、備品が整備されました。区民のみなさん、コミュニティ活動に活用してください。

備品名	数量
仲田区 エアコン	3台
伊是名区 エアコン	3台

景観づくりシンポジウム開催

皆さんは伊是名村の原風景をどのように感じているでしょうか。昔から緑が多いこの島では、長く住んでいると特に意識しなくなることも出てくることでしょう。ところが、経済の発展とともに自然が減少した市街地などで住んでいる方の中には、昔ながらの自然風景に特別な感情や価値観をもつ方もいます。近年では、自然と共存する街づくりを進めている自治体が増えています。

村では、将来の伊是名村の景観づくりに関する取り組みを平成23年度から行っており、住民アンケートやワークショップ等の基礎調査からスタートしました。平成24年度からは基礎調査をもとに景観計画を策定し、景観形成に向けて着々と取り組んでいます。そして、平成26年度からは同計画の運用・景観条例施行の予定です。

この景観計画に協働されている方々をお招きして、1月16日(木)に産業支援センターで景観づくりシンポジウムが開催された。

3部構成で行われたシンポジウムの第1部では、村出身で版画家の名嘉睦稔氏が講師を務め、「伊是名村の原風景と景観づくり」と題して講話が行われた。島で過ごしたかつての風景を想い描いた自身の作品を供覧しながら、当時の自然が創り出す世界観を解説した。第2部では、景観づくりに関する事業がどのように取り組まれてきたのか、行政側から紹介があった。第3部では、〝これからの伊是名の景観づくりに向けて〟をテーマに、景観計画策定委員長を務める琉球大学名誉教授の上間清氏、伊是名村観光大使の西昇氏、名嘉睦稔氏、前田村長の4氏によるパネルディスカッションが行われた。上間教授進行のもと、それぞれ伊是名村に対する想いと今後の事業に対する課題や期待などの意見交換が活発に行われた。

ディスカッション終了後には、この事業に対する取り組みに期待しているとの声が上がっていた。村民が造りあげていく新たな伊是名村がここから始まろうとしている。

平成26年 消防出初め式

1月10日(金)村産業支援センターにおいて消防団の出初め式が執り行われ、今年一年の無火災無災害を祈念した。

来賓が見守るなか、前田村長と伊禮消防団長による特別点検が行われると、団員は胸を張り襟を正した。村長訓示では、日頃の救急活動を労いつつ、今年予定の村全体で行われる防災訓練での活躍に期待を示した。その後の一斉放水では赤と緑の二色が使用され、式典を彩った。

出初め式終了後、消防団員は村内各箇所に設置されている水利施設の点検を行い、集落内における防火対策も行った。

平成26年 伊是名村新春の集い

1月22日(水)産業支援センターにおいて、伊是名村商工会と伊是名村の共催で平成26年伊是名村新春の集いが開催された。村内外から約200名の方々が参加し、お互いの近況や今後の見通しなどを話し交流を深めていた。会場には、この日のために調達された島の食材を使用した料理や島酒が数多く用意され、参加した関係者は舌鼓を打っていた。舞台では余興なども行われ、交流会を盛りあげた。

劇団たんぽぽ 伊是名島公演

12月15日(日)劇団タンポポが村産業支援センターで公演を行った。

作品は「うそつき大ちゃん」。いつも一人の大ちゃんは、ドブ川でよく遊び、そこには魚がいることを知っている。でも他の子は、そんな汚い川に魚がいる訳がないと、大ちゃんのことを嘘つき呼ばわりする。そんなある日、大ちゃんと二人で河原を歩いた少年は、ドブ川に魚がいることを知った。そこから、大ちゃんとみんなの冒険が始まるストーリーとなっている。

みんなで釣勝負！たくさん釣ったのは･･･

ロビーには昭和38年当時の写真などが展示された

公演を見に来たお客さんも、歴史ある劇団の巧みな演技に食い入るようだった。昭和38年に初めての沖縄公演時に伊是名村も訪れ、当時の子どもたちに夢を与えている。劇団は今も、たんぽぽの綿毛のように全国を飛び回っている。

映画上映会「旅立ちの島唄～15の春～」

県内でも話題となっている映画「旅立ちの島唄～15の春～」の上映会が、1月14日(火)に村産業支援センターで開催された。

南大東島を舞台にしたこの映画では、中学卒業と同時に島を出る娘と、その家族の想いが込められた作品となっており、共感する声が多い。この日は多くの親子が鑑賞に訪れ、用意した席はほぼ満員となった。

鑑賞した方の一人は「子供はいつまでも子供だから心配は尽きないねぇ。それでも立派に成長してくれたら何より嬉しいさ」と、我が子と離れる悲しさと、成長する姿を楽しみにしている期待感とが複雑に感じているようだった。数ヶ月後に旅立つ我が子への想いを強く感じた一日となった。

「離島フェア2013」絵画で優秀賞、奨励賞を受賞

平成25年11月15日(金)～17日(日)の3日間、沖縄セルラーパーク那覇において、離島フェアが開催されました。離島の小・中学校が自分の住む島を積極的にアピールすることを目的に毎年絵画募集を行っており、今年は小・中学校から7作品の応募があり、小学校からは2年生の前川姫菜さんが「尚円王祭りの花火」で優秀賞、6年生の島真琳さんが「伊是名の伝説」で奨励賞、中学校からは2年生の城間美久里さんが「数少ないかわらの家」で優秀賞を受賞しました。

受賞した島真琳（左）さんと前川姫菜さん

お知らせ

平成26年度（平成25年分）村民税県民税の申告について

平成26年2月17日（月）～3月17日（月）まで確定申告及び住民税の申告を行います。
できるだけ多くのみなさんに申告を済ませてもらうために、申告相談、申告の指導を行いますので、みなさまのご協力お願いします。

申告書を提出しなければならない人

＊平成26年1月1日現在伊是名村に住所があり、平成25年中（平成25年1月1日から平成25年12月31日）に所得があった方

申告に必要なもの

① 印　　鑑
② 給与所得者は、源泉徴収票（源泉徴収票のない人は、給与支払者の証明書を勤務先からもらってきて下さい。）
③ 営業等、農業その他の事業所得の明細書・領収書等
④ 不動産所得（軍用地料、その他の地料、家賃）の明細書
⑤ 利子、配当所得などの明細書
⑥ 平成25年中に支払った生命保険料、国民健康保険料、国民年金、介護保険料、農協共済、医療費等の証明書又は領収書
⑦ 雑損控除のある人は消防署等の証明書
⑧ 勤労学生の場合は在学証明書

申告書の提出をしなくてもよい人

① 所得税の確定申告書を提出した人
② 平成25年中に給与所得だけの人で勤務先から給与支払報告書（源泉徴収票）が提出されている人

注）所得申告しない場合

申告がない場合は役場の基準等で課税され皆さんに不利になる場合があります。

① 申告がないため証明書等が発行できない場合があります。
② 国民健康保険税の未申告者となり、低所得対策のための軽減制度が適用されません。

問い合わせ先　伊是名村役場　総務課　☎45-2001

お知らせ

沖縄県の最低賃金

○最低賃金制度とは
働くすべての人に、賃金の最低額を保障する制度です。

○適用される対象者は
働くすべての人に、適用されます。

○最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は
最低賃金法違反として処罰されます。

特定（産業別）最低賃金

	時間額	内容	発行日
清涼飲料酒類製造業	686円	清涼飲料製造業・果実酒製造業・清酒製造業・蒸留酒・混成酒製造業・ビール製造業	平成25年11月23日
各種商品小売業	685円	百貨店・総合スーパーその他の各種小売業	平成25年11月29日
畜産食品製造業	683円	肉製品製造業・乳製品製造業・その他の畜産食料品製造業	平成25年12月11日
糖類製造業	693円	砂糖製造業・砂糖精製業・ぶどう糖・水あめ異性化糖製造業	平成25年12月5日
自動車（新車）小売業	693円	自動車（新車）小売業	平成25年11月29日
新聞業	768円	新聞業	平成25年11月28日

■お問い合わせ　沖縄県労働局または最寄りの労働基準監督署へ　【TEL（098）868-3421】
ウェブで最低賃金がチェックできます。沖縄労働局ホームページへ

厚生労働省

情報コーナー

お知らせ　沖縄県介護保険広域連合「嘱託員」募集

嘱託員職種	要介護保険広域連合調査員
職務内容	介護認定調査、認定審査会の運営に関する業務、付帯する業務
募集要件（資格等）	介護支援専門員、保健師、看護師、介護福祉士の実務経験者及びパソコンができる者、普通自動車運転免許所持者
勤務条件	月曜日から金曜日の内、週4日（29時間以内） 勤務時間:午前8時45分から午後5時 （7時間25分）
応募方法	臨時・嘱託職員任用候補者名簿登載申請書（各調査認定事務所にて配付）を沖縄県介護保険広域連合認定課か各調査認定事務所 に提出（直接又は郵送） ※履歴書の提出及び面接については後日連絡します。 ※申請書は介護保険広域連合のホームページからも取得できます。

募集期間	平成26年2月10日（月）～14日（金）午後5時まで
募集人数及び任用開始予定	若干名／平成26年4月1日

問い合わせ又は郵送先

〒904-0398 読谷村字比謝矼55
沖縄県介護保険広域連合　認定課（中部調査認定事務所）
☎911-7504

〒905-0006 名護市字茂佐の森5-2-7
北部調査認定事務所（北部会館４F）
☎911-7530

〒901-1116 南風原町字照屋１
南部調査認定事務所
☎911-7520

お知らせ　伊是名村緑化支部からお知らせです

平素から地域の環境整備や緑化の推進につきまして多大なご支援とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、伊是名村緑化支部では、平成26年緑の募金を2月1日から実施しています。緑の募金は、村民の皆様のご理解ご協力により昨年は目標額を達成する募金実績となり、平成25年分の交付金により、村内の修景緑化を計画し、伊是名ビーチ周辺や村道サンゲナ線へクラピア等花木の植栽を実施する予定であります。

引き続き緑豊かで自然に溢れたふる里づくりを推進するため、本年も緑の募金の趣旨にご理解とご協力をいただきますよう特段のご高配をお願い致します。

緑の募金

募金内容

１．家庭募金・・・200円以上
２．職場募金・・・500円以上
３．企業募金・・・１万円目安
４．募金集中期間・・・２月１日～２月28日

お知らせ　教育委員・人権擁護委員が決まる

教育委員に就任した潮平そのみさん

教育委員
・**潮平そのみ（新）** 任期は平成26年1月1日から4年

人権擁護委員
・**前田　清（再）** 任期は平成26年1月1日から3年

お知らせ　ニューいぜな運航ダイヤについて

平成26年3月23日（土）～31日（月）までの期間、「ニューいぜな」の運航は、下記に変更となります。村民並びに利用者各位のご理解とご協力お願い申し上げます。

3月23日（土）～31日（月）

（住）伊是名発：　9時00分▶運天港着：　9時55分
（復）運天港発：15時30分▶伊是名着：16時25分

問い合わせ　連絡先
運天港船舶連絡事務所 TEL0980－56－5084
仲田港ターミナル TEL0980－45－2002
村観光振興課 TEL0980－45－2534

「一足早い成人式」開催

平成26年元日、村産業支援センターにおいて「一足早い成人式」が、村教育委員会主催で（昭和61年から正月帰省に合わせ）開催された。今年成人を迎えたのは伊是名中学校61期生（平成5年4月2日生から平成6年4月1日生）17名。

式典では、出席した家族や村長、教育長からお祝いや激励のメッセージが贈られた。式典終盤で新成人全員の自己紹介・御礼の言葉が発表されると、それぞれの想いがこみ上げて、会場は涙と感動に包まれた。

自己紹介・・・緊張する～

式典終了後には引き続き祝賀会が行われ、父母や村青年団、尚円太鼓が会場を沸かせた。とりわけ、お父さん全員による棒術では新成人が飛び入りで参加し、親子で共演するなど大盛り上がりを見せた。会に参加した父母のひとりは「まさか子どもたちが棒術に出るとは思ってなかったから、お父さん達はすごく喜んでいたよ。一生の思い出になったんじゃないかな。」と振り返った。

まだまだ若者には負けない

祝賀会終了後、新成人はそれぞれの集落へ戻り、地域の方々から大きな祝福を受け、成人を迎えた今年を特別な気持ちでスタートさせた。

伊禮俊一さんも後輩を祝い熱唱

親子で共同作業!!

年末が近づいてきた12月25日の午後、終業式を終えたばかりの子どもたちが、お父さんお母さんと正月用のしめ縄づくりにチャレンジしていた。最初はぎこちなかったが、みんなで一生懸命頑張って、立派なしめ縄が出来たようです。

鳥の暦 2月～3月上旬の行事予定

2/11	火	・建国記念の日
19	水	・新潟大学教育学部付属長岡中学校（民泊～20日まで）
3/2	日	・トートク（土帝君）
3	月	・ひなまつり（保育所）
6	木	・高校入試　（～7日まで）
9	日	・中学校卒業式

我が家のニューフェイスです。よろしくね

名嘉　紗亜羅（さあら）ちゃん（長女）

平成25年12月28日生　父：真史　母：あずさ

企画・編集・印刷　伊是名村総務課／広報編集委員会
TEL（0980）45－2001　FAX（0980）45－2467
印刷：丸正印刷株式会社